protiviti®
Global Business Consulting

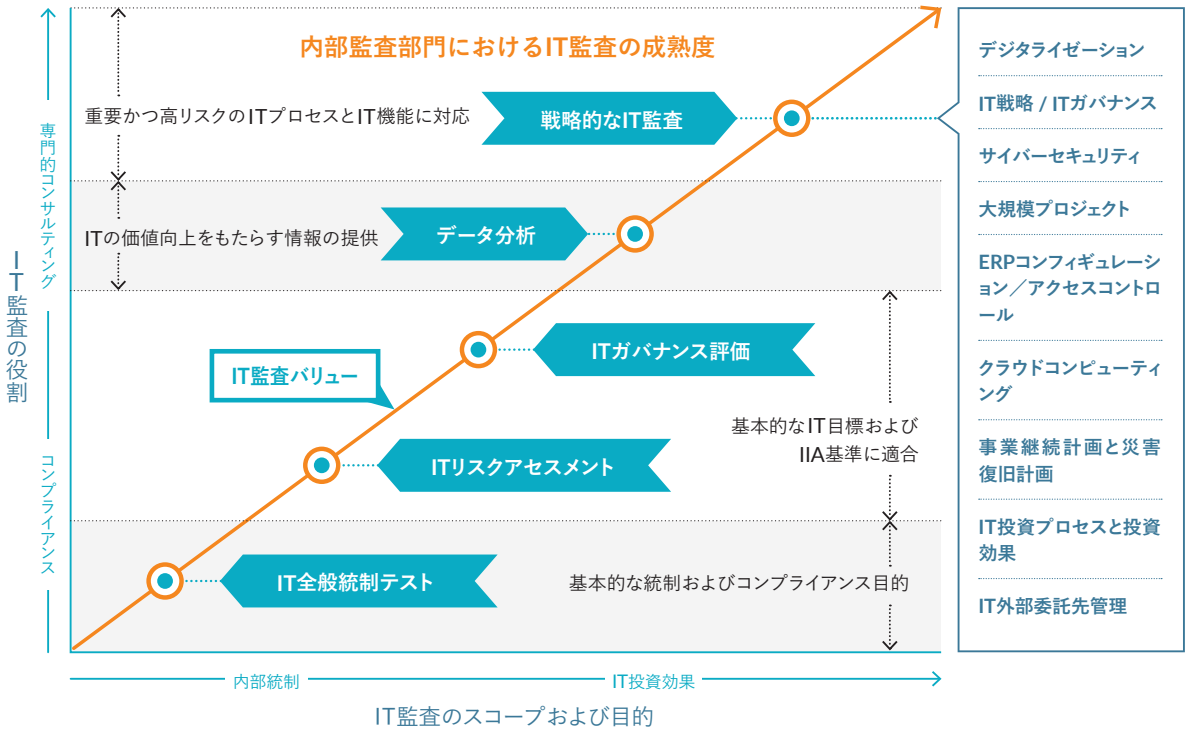
情報システム監査サービス

企業のITリスクに応じたIT監査の手法を構築し、ビジネスのデジタル化に対応した監査を支援します。

今、ビジネスが成功する鍵として、情報システムへの依存度がかつて無いほどに増大しています。企業の情報システム環境は法令、お客様、関連企業からのさまざまな要求に応えていく必要があります。こうした情報システムが課せられた大きな使命を全うするためには、経営管理活動の主要な機能として情報システムに対する経営のモニタリング機能が重要になっています。

情報システムの内部監査は、情報システムが抱えるリスクを理解し、リスクを低減するための内部統制が整備され機能していることを定期的、独立的、体系的に検証する経営のモニタリング活動です。

情報システム内部監査では、多岐にわたり複雑性を増す情報システムに内在するリスクを認識・評価し、特にリスクの高い分野における内部統制に焦点をあてます。



IT監査の主な支援メニュー

デジタル成熟度監査／アセスメント

弊社のフレームワークに則って、企業の現時点のデジタル化への取り組みレベルと、将来的な目標レベルを確認し、デジタル成熟度を向上させるための施策を評価します。同時に、企業に潜むデジタル化のITリスクを明確にします。

プロジェクト監査

RPAやAIといった新技術の導入だけでなく、クラウド化を含むレガシーシステムの刷新プロジェクト等のさまざまなプロジェクトについて、管理態勢/プロジェクト管理/プロジェクト品質の観点で、監査実施を支援します。

サイバーセキュリティ監査

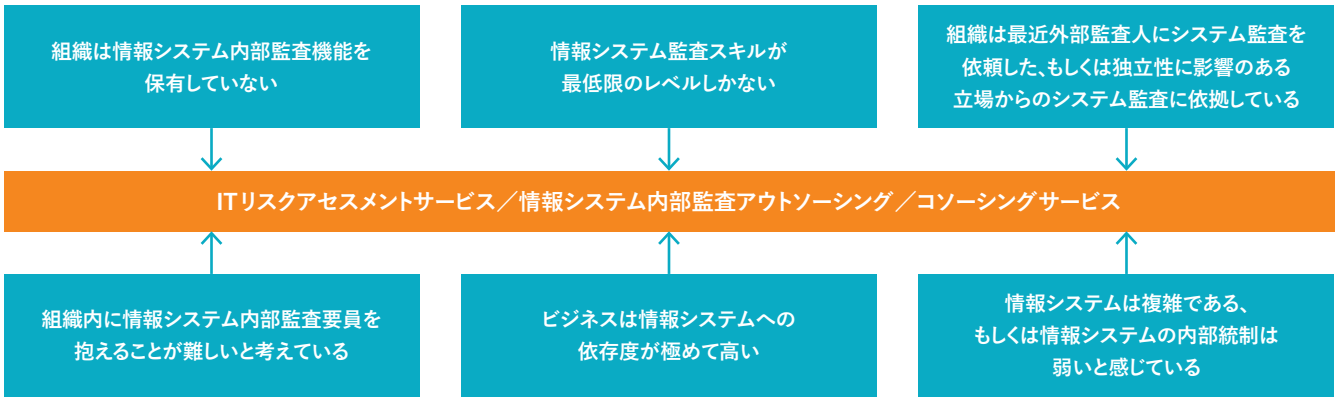
各種フレームワークへの準拠を確認するだけでなく、平時とインシデント発生時の両面から、サイバーセキュリティ管理の成熟度を評価し、進化しつづけるサイバー攻撃に対処できる管理態勢の高度化支援も行います。

エマージングテクノロジー・ガバナンス監査

企業が新しいIT技術・デジタル技術を取り入れて活用する際、生じるリスクや課題をコントロールしつつ経営戦略に合った効果的な活用が行えるよう、リスク、コンプライアンス、サードパーティ、セキュリティなどを適切に管理する仕組み（ガバナンス）が整備されているかを評価します。

情報システムの内部監査は、経営者による自社の情報システムの有効性の把握、および情報システムに係るリスク管理体制や内部統制の改善につながります。

プロティビティは、企業が抱えている情報システム監査に関する課題を、リスクアプローチによる情報システムの内部監査の一括アウトソーシングや、お客様の内部監査部門と共同で内部監査を実施するコソーシングサービスにより解決いたします。



プロティビティについて

プロティビティは、企業のリーダーが自信をもって未来に立ち向かうために、高い専門性と客観性のある洞察力や、お客様ごとに的確なアプローチを提供し、ゆるぎない最善の連携を約束するグローバルコンサルティングファームです。25か国、90を超える拠点で、プロティビティとそのメンバーファームはクライアントに、ガバナンス、リスク、内部監査、経理財務、テクノロジー、デジタル、オペレーション、人材・組織、データ分析におけるコンサルティングサービスとマネージドソリューションを提供しています。プロティビティは、米国フォーチュン誌の働きがいのある会社ベスト100に10年連続で選出され、Fortune 100の80％以上、Fortune 500の約80％の企業にサービスを提供しています。また、成長著しい中小企業や、上場を目指している企業、政府機関等も支援しています。プロティビティは、Robert Half（NYSE：RHI）の100％子会社です。

プロティビティLLC　protiviti.jp

東京都千代田区大手町2-6-4　TOKYO TORCH 常盤橋タワー24F

大阪府大阪市北区梅田3-2-123　イノゲート大阪9F

Protiviti、Protivitiロゴは、Protiviti Inc.の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。その他の記載されている会社名・製品名は各社の登録商標です。　PJG2412P

protiviti®